

Windows Server® 2003/2003 R2移行アセスメントサービスのご紹介

1 Windows Server® 2003のサポート終了は2015年7月15日

迫るサポート終了！高まるリスク

- ・セキュリティリスクの増大
サポート終了後は、セキュリティ更新プログラムが提供されません。ウイルス感染による情報漏洩やシステムダウンのリスクが更に増大します。
- ・問題発生時の対応コストの増大
電話やメールによるサポート、関連情報の提供が終了します。システム障害発生時の原因調査や対策検討が迅速に行えません。最悪の場合、トラブル対策できない場合があります。
- ・古いハードウェアの継続使用もリスク
故障の可能性が増大、修理部品の調達も困難になります。性能、消費電力などの点でも不利です。

サーバーの移行には時間がかかります！今すぐ着手を！

- ・最新OS移行にはアプリケーションやミドルウェアの修正・変更が必要な可能性があります。
- ・例えば、ファイルサーバーであってもOSバージョンアップ時にはアクセス権の再設計が必要です。



2 移行の選択肢

既存のWindows Server® 2003環境のリプレースのポイントは2つ
【ポイント1】OSバージョンの選択

選択肢	メリット	デメリット	こんな時に選択
Windows Server® 2003 (仮想環境)	アプリ変更不要 移行コストと期間が最少限	セキュリティ脅威	短期間の経過措置 クラウドシステム (セキュリティ対策は必須)
Windows Server® 2008	32bit環境が使える 3rdパーティソフトのサポート多	メインストリームサポートが2015/1/13、延長サポートが、2020/1/14に終了	2020/1/14までに再度リプレース 32bitドライバ環境が必要
Windows Server® 2012 R2	最新OSの機能を活用できる	Windows Server® 2003とのアプリ互換性の問題あり	上記以外のケースで選択(基本)。

【ポイント2】仮想化統合とクラウドへの移行
・仮想化・統合する事で物理サーバ台数減。運用コスト、消費電力、スペースなど削減。
・将来的なクラウド移行を見据えた仮想化環境への適応

3 Windows Server® 2012 R2への移行メリット

移行先としてWindows Server® 2012 R2を選んだ場合に得られるメリットは次の通り。

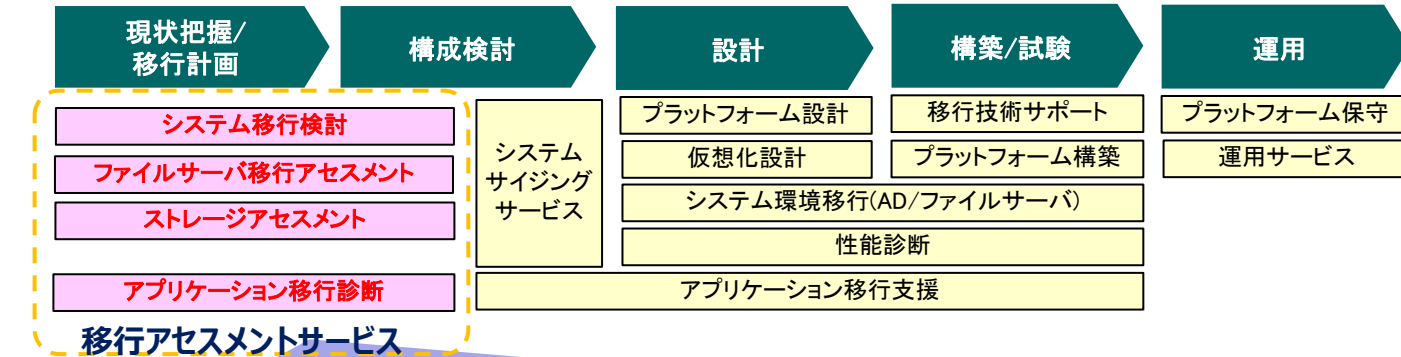
メリット	内容
コスト削減	・Hyper-V®で複数のサーバーを集約することで省電力化。 ・仮想インスタンス用ライセンスの追加購入は不要。(Standard: 2つまで、Datacenter: 無制限) ・データ重複除去機能でストレージ容量を削減。
生産性向上	・アクセス頻度を考慮したファイルのストレージ(SSD、HDD)再配置機能によるパフォーマンス向上 ・ストレージプールによるサーバの効率的な運用 ・最新のファイル共有プロトコル(SMB)で、高速かつ高度なファイルサーバー機能を提供。 ・Workplace Join機能でBYODを実現可能。
信頼性向上	・Windows® 8/8.1との高い親和性。 ・高信頼ファイルシステム"ReFS"で、ダウンタイム軽減とデータ信頼性向上 ・仮想インスタンスのライブマイグレーションで、冗長性/可用性を確保。 ・仮想インスタンスの遠隔(オフサイト/クラウド)バックアップで災害対策。

上記はすべてOSの標準機能
移行を機にクラウドレディなシステムへ

4 サービスのご紹介

サービス概要：
Windows Server® 2003/2003 R2で動作しているITシステムを、最適な環境へ移行するためのアセスメントサービスを提供します。新しい環境への移行が容易にできるか、環境チェックを実施するとともに、今までのシステム構築で培ってきたノウハウを駆使して、お客様の移行方針の決定と計画策定をサポートします。

アセスメントサービスの位置づけ：
弊社では、移行の各フェーズで各種サービスをご提供しております。後のフェーズに大きな影響を与えるため、特に現状把握/移行計画～構成検討フェーズでのアセスメントが特に重要です。

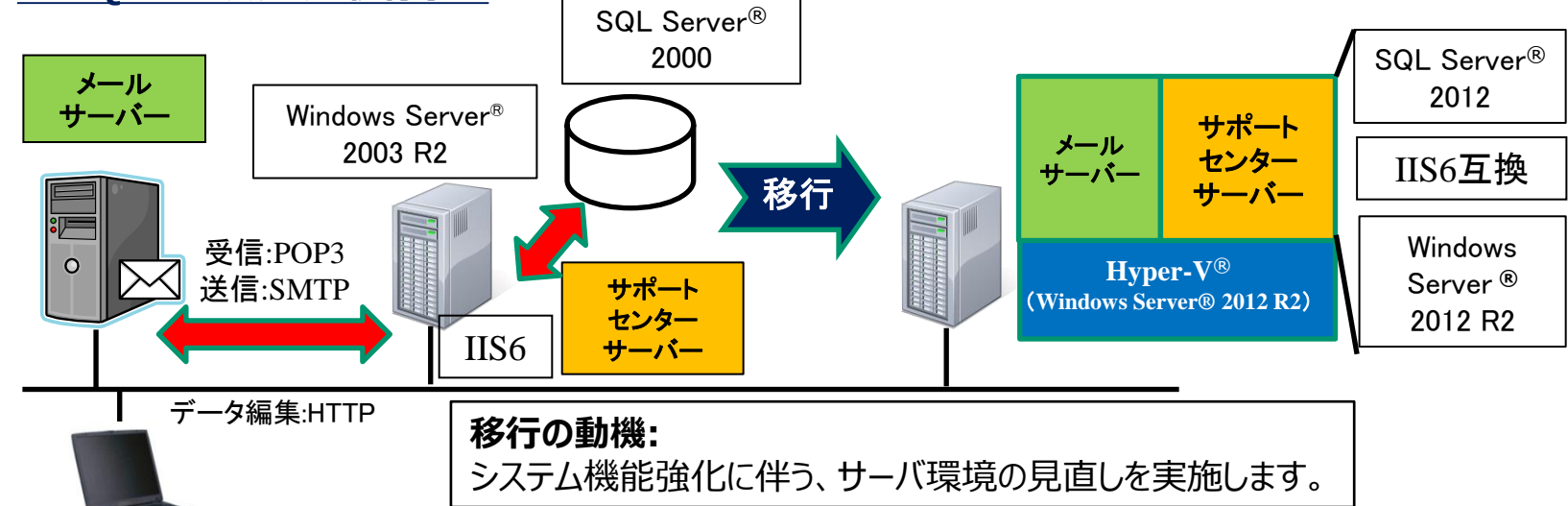


メニュー	サービス内容	ご利用頂くメリット
システム移行検討サービス 今なら無償 *1	<ul style="list-style-type: none"> ■移行方針検討 <ul style="list-style-type: none"> ・お客様の要件に基づき、移行先の選択肢と、その比較情報をご提示します。OS/MWの種類やバージョン、仮想化の有無を考慮した選択肢をご提示します。 ・お客様のシステム移行計画をご提案します。 ■簡易サイジング <ul style="list-style-type: none"> ・現行システムの性能情報(1週間分)を基に、移行先システムのサーバ構成案をご提示します。 ※お客様も容易に操作できる情報採取ツールをご用意しています。 ・現行システムのパフォーマンスデータを採取頂き、性能ボトルネックとなっているリソース(CPU/メモリ/ディスク/ネットワーク)の診断を行います。 ■アプリケーション移行簡易アセスメント <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング言語や開発環境の情報などを基に、アプリケーション移行に関する課題、リスク、注意事項の情報をご提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の要件に合った最適な移行方式を決定する事ができます。 ・移行先システムの構成イメージがつかめます。 ・現行システムのボトルネックを把握し、移行システム検討に活かされます。 ・アプリケーションを移行すべきか否かの判断に役立つ事ができます。 ・移行にかかる費用感、スケジュール感を把握する事ができます。
ファイルサーバー移行アセスメントサービス 今なら無償	<ul style="list-style-type: none"> ・現行のファイルサーバーの利用状況(フォルダ毎のアクセス頻度など)を調査し、データの移行の要否を判断する為の情報をご提示します。 ※"ファイルサーバー"の役割がインストールされている必要があります。 ・ファイルサーバをWindows Server® 2003からWindows Server® 2012 R2に移行する事での重複排除による容量削減効果のアセスメントも可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移行対象データの選定に役立ちます。 ・移行先のディスク容量検討に役立ちます。
ストレージアセスメントサービス 今なら無償 *2	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用システムで採取頂いたストレージパフォーマンスデータから、ボトルネックとなっている箇所を診断します。診断結果から最適なストレージをご提案します。 ※ お客様にも容易に操作できる情報採取ツールをご用意しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移行先システムに最適なストレージを選定できます。
アプリケーション移行診断サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ソースコードの分析、実機での事前評価に基づきアプリケーションの大まかな移行工数(規模感)の算出を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーション移行の作業ボリュームを把握できます。

*1:調査対象がWindows Server 2003/2003 R2で、計測期間が1週間以内の場合に限ります。 *2:対象となるシステムはサーバ/ゲストOSが数台程度となります。パフォーマンスデータはお客様にて採取頂きます。

5 移行実施例

製品Q & Aシステムの移行事例



スケジュール、リスク、問題解決を含めた最適な移行方針の検討

環境変更内容：

環境	物理HW (2台)	サイジング	環境	物理HW (1台)
OS	Windows Server® 2003 R2	→	OS	Windows Server® 2012 R2 + Hyper-V®
アプリ	Microsoft® SQL Server® 2000		アプリ	Microsoft® SQL Server® 2012
動作環境	.NET Framework 1.1		動作環境	.NET Framework 4.0

仮想環境への対応を含めたサーバー構成の検討

①仮想化が有効な場合、元のサーバー台数の削減、及び、省スペース化が実現できます。
Windows Server® 2012 R2 Standardの場合は、2インスタンスの仮想化は無料です。
②移行に時間がかかる場合、現行環境のまま仮想化に移行し、後からバージョンアップを実施などの提案もあります。
アプリの最適な移行条件の提案
.NET Framework/パッケージのバージョンアップを伴う場合、移植作業があり作業期間は増えます。

本サービスに関するお問い合わせ： IAサーバ MAGNIAシリーズお問い合わせ窓口
http://www.toshiba-sol.co.jp/pro/magnia/contact/index.htm (MAGNIAシリーズ以外をご使用のお客様もこちらをご利用下さい)